

口永良部新岳噴火に伴う屋久島の降灰植生影響調査

屋久島森林生態系保全センター



【宮之浦から見た降灰状況：5月29日】



【シャクナゲに降った火山灰：5月29日】

平成27年5月29日午前9時59分に噴火した口永良部新岳の降灰は、口永良部島の動植物や隣接する世界自然遺産屋久島の貴重な植物に与える影響について危惧されているところある。

屋久島森林生態系保全センターでは、平成27年6月8日（月）から、今回、降灰確認された区域6箇所のプロット（表1）において、屋久島固有種のヤクシマシャクナゲなど計6種について写真撮影による影響調査を定期的（当面10日に1回）に観察することとした。

今後、火山活動による降灰の発生状況によっては、10m四方のプロットを設置し、より細かな植生影響調査を行う予定である。



植生影響調査箇所プロット別一覧（表1）

【プロット6】

プロット	調査樹種	調査箇所	備考
プロット1	カンコノキ	平瀬国有林258ろ林小班	
プロット2	ヤクシマサルスベリ	白川国有林250に林小班	準危惧種
プロット3	シマイズセンリョウ	黒味国有林35う1林小班	
プロット4	アカメガシワ	七五岳国有林40ろ林小班	
プロット5	ヒサカキ	永田国有林3い2林小班	
プロット6	ヤクシマシャクナゲ	耳嶽国有林81な林小班	固有変種